

テーマ 《 三股町の今と未来を語ろう 》 【グループ発表用】

班名【 3班 】

※発表時間の目安は3分です。

《地域の担い手不足について（自治公民館役員、民生委員・児童委員、議員）》

- 行政と連携し、借家や隣人へのチラシ配布など周知の努力はしているが、なかなか反応が鈍いのが実情。役員向けに回答マニュアルを作成するなどの工夫もしているが、まだまだ難しい状況
- また、戸数に合わせた助成金制度であるため、加入者が減ると運営そのものが厳しくなっている状況
(地区別でもリアルな声が共有された)
- 70%超だった加入率が62%に落ちた地区では、共働きなどライフスタイルの変化が大きく影響している。そのため、子ども会などを通じて少しでも若い世代との接点を作ろうと努力している
- 一方で、単身暮らしの方への声かけが難しいという意見や、人口が流出し高齢化が進む中で、空き家が増加している地区の声もあった。
- 町営アパートで加入漏れが起きていることも課題として挙がっている。大家さんの協力でアパート入居時に加入を促している例もあるが、地域全体で見ると青壮年層の数が50人から20人へと大きく減少している
- 地域のつながり作りも悩ましい状況です。コロナ禍で中断した行事の再開が難しく、また簡素化したことでかえって地域の交流が減ってしまっているというジレンマがあります。いざ祭りなどの交流行事をやろうとしても、担い手が少なく負担が大きいのが現状です。ゴミステーションの管理も加入とセットになっているため、加入促進の観点から行政にも協力してほしいという声もあった
- 民生委員の活動についても、今年に入ってから活動報告の中で、訪問先の多くが入院や施設入所をされているという高齢化の深刻な実態が報告された。役員の兼務が当たり前になっている状況も見直す必要がある
- こうした担い手不足を解消するため、班の話し合いで特に重要だと確認されたのが、「役員の奥様やパートナーへの配慮」です。役員を引き受ける際のご家族の負担をどう減らし、誘い方も変えていった方がいいという意見が出た

《その他》